



学校図書館だより

11月号

令和2年11月
柏市立中学校
柏市学校図書館指導員

枯葉舞い散る季節となり、夕暮れも早くなりました。平安時代の女流作家 清少納言は、日本最古の随筆『枕草子』で「秋は夕暮れ。（秋は夕暮れに趣がある。）」と記しています。秋の夜長には、やっぱり読書がおすすめです。長編やシリーズものに挑戦してみるのもいいかもしれません。学校図書館でお気に入りの一冊をさがしてみてください。

市内中学生ビブリオバトル (知的書評合戦) 開催!

10月28日(水)に柏市立図書館主催の「市内中学生ビブリオバトル(知的書評合戦)」の決勝大会がオンラインで行われました。事前のブロック予選を勝ち抜いた生徒による決勝大会で、それぞれお気に入りの本を読んで感じたことや考えたことなどを伝え合いました。

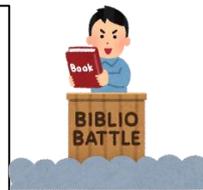
「一番読みたい本」として、審査員の票を最も多く集めた本が「チャンプ本」に選ばれました。

令和2年度 **チャンプ本**

『カーネーション』いとうみく 著 くもん出版 <913/イト>

準チャンプ本

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』汐見夏衛 著 スターツ出版 <913/シオ>



「ペンの日」に手紙を書いてみませんか?



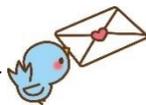
11月26日は「ペンの日」。1935年のこの日、日本ペンクラブが創設されたことにちなんだ記念日です。今はスマホやパソコンのメールなどで連絡を取り合うことも多いかと思いますが、ペンの日には直筆の手紙を書いてみませんか?手紙だからこそ、伝わる気持ちがあるかもしれません。手紙が出てくる本を読むのもおすすめ。読み終わったあとに、余韻がじんわりと心に残ります。

【クイズ】

日本ペンクラブの初代会長は誰でしょう?答えは一番下にあります。

①芥川龍之介 ②島崎藤村 ③夏目漱石 (『今日は何の日?365日大事典』あかね書房 2017)

今月のおすすめ



『手紙』

東野 圭吾 著/文春文庫 <913ヒガ>

直貴のもとには、強盗殺人事件をおこして刑務所にいる兄から、月に一度、手紙が届く。進学、恋愛、就職と、直貴が幸せをつかもうとするたびに「強盗殺人犯の弟」という運命が立ち上がる。人の絆とは?差別とは?

テーマは「手紙」

『ツバキ文具店』

小川 糸 著/幻冬舎 <913オガ>

伝えられなかった大切な人への想い。あなたに代わって、お届けします。ラブレター、絶縁状、天国からの手紙…。鎌倉で代書屋を営む鳩子の元に、今日も風変りな依頼が舞い込みます。

『王への手紙』

トンケ・ドラフト 著/岩波書店 <949ドラ>

見習い騎士のティウリは見知らぬ人物から重要な手紙を託され、大山脈の向こうまで命がけの旅に出る。誰が敵か味方かもわからない中、信頼できる仲間を見つけ、使命を果たそうとする少年の友情と成長の物語。

『あしながおじさん』

ジーン・ウェブスター 著/岩波書店 <933ウエ>

孤児院でそだったジェルーシャは、見知らぬお金持ちの援助を受けて大学に入ることに。その条件は、毎月その生活を手紙で報告すること。手紙につづられる楽しい大学生活と、おじさんの正体に心が温まります。